

京都労山

2026年2月号

No. 392

発行日

2026年1月19日

発行所: 京都府労働者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: 〒616-8042 京都市右京区花園伊町4 電話: 075-275-0453 FAX: 075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>



京都府労働者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

2月号目次

* 六つの合い言葉・目次	
* ステップアップ 坪山理事長	0 1
* 事務局長会議報告	0 2
* 京都労山 61 期総会召集状	0 3
* 総会代議員・理事の推薦	0 4
* 自然保護セミナーの報告	0 6
* 積雪期搬出訓練の案内	1 4
* 冬山連絡会の報告	1 5
* 女性委員会山行案内	1 6
* 大文字山登山道整備の案内	1 7
* 大文字山登山道整備活動の報告	1 8
* 大文字山登山道整備活動のまとめ	2 0
* 能登半島地震被災者支援活動報告	2 2
* 60 周年記念事業実行委員会第 14 回記録	2 4
* 全国連盟第 37 回総会召集状	2 5
* 全国会議の予定	2 7
* 連載企画・二百名山登頂シリーズ第 60 回「蒜山」	2 8
* 2 月号の案内	2 9
* 連盟月間予定表「カレンダー」	裏表紙

京都労山 60 周年を迎えるにあたって

跳躍の年と言われる午年を迎え、新しいスタートを切られておられると思います。その新しい年を迎える年末年始に歓迎すべきでない出来事がありました。

2025 年 12 月末をもって、京都北部の舞鶴地域で労山の旗を高く掲げて活動をしていた舞鶴勤労者山岳会が、その歴史に幕を下ろしました。創立 50 年を迎えた会で、一時は 100 名に迫る会員を擁して、丹後地方の労山運動を牽引されていました。会員が 14 人に減少し、労山活動が一部の会員に偏っていること。平均年令が 73 才と高齢化が進み、安全登山が困難になってきていること。レジャーの多様化により新規会員の獲得が困難になってきていることが、理由として述べられていました。今までの活動に対して、敬意を表すると共にこれからも進行する高齢化の中、労山活動を進めていく京都連盟として、教訓としていくことが必要であると考えます。

一つは、高齢化が進む中で安全をいかに確保するかという課題です。山行後半の下りに転倒事故が集中していることから、体力向上が求められています。疲れないペース配分と山の選択も必要でしょう。こういった高齢者をターゲットにした安全登山スキル普及活動は、遭難防止と組織維持という二つの観点から京都連盟に課せられた大きな役割であると考えます。新規会員獲得の困難さは、さまざまな会で進んだ経験が報告されています。他の会の経験を学ぶという点で、北部救助隊の解散やコロナ禍で北部連絡会をリモートで実施するようになったことが、会員士が支え合う機会を狭めてしまったのではないかと反省するところです。

新年では、帝国主義全盛期を彷彿させる様な国家主権を侵害する武力行使がベネズエラで起こりました。人の命を一顧だにしない蛮行を許すことはできません。私たち登山者は仲間の命を守るために、啓発や教育活動を行っています。誰であっても命はかけがえのないもの。日本国の大統領たる人物が、この蛮行に対して評価をしない。肯定しているとも取られかねない発言をしています。こんな価値観を許してはなりません。「命を大切にしよう」「戦争を止めよう」という当たり前のことを発信できる政権に換えていきたいものです。

暗い話題だけではありません。京都労山の中でも、新しいエネルギーが動き出しています。救助隊です。初級登山学校の修了生や若手メンバーの救助隊登録が進み出しました。救助隊の訓練山行も、10 数年ぶりに計画中です。教育と救助隊。この二つの両輪が、今再び回り出そうとしています。安全登山思想を広めること。救助技術（緊急対応術）を身に付けることは、労山の仲間の当然の要求でありますし、未組織の登山者にとっても切実な要求ではないでしょうか。60 周年を迎える今年、61 期定期総会をバネに跳躍の年にしましょう。

京都府勤労者山岳連盟
理事長 坪山 芳樹

事務局長会議報告 (各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

1月 6 日：やましな,乙訓,右京,西山,伏見,洛中,明峯,山城,亀岡,左京,福知山,11 労山

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

- ・[右京]<例会>12/21 終い山行地蔵→愛宕山→ツツジ尾根(善哉) 16人<予定>1/18 雪の比叡山(修学院～大比叡～八瀬)<その他>1/12 新年の懇親会(花の舞)
- ・[やましな]<例会>12/21 橿原→水尾(柚子風呂,鶏鍋)10人<予定>1/15 六甲全山縦走(1回目)ゆっくり<その他>12/7 創立⑩懇親会(みやこメッセ) 52人参加
- ・[西山]<例会>12/7(10人)・14(14人)愛宕山ペース登山<予定>1/10 古都歩き(田中神社),23 京街道<その他>2月 8日第1回山行計画⑩周年の記念山行計画
- ・[乙訓]<例会>12/6 兵庫大岩岳と武田尾廃線敷9人,13～14 納山祭 20人,22 天トレ山納めゴミ拾い7人<予定>1/11 朝熊山、12 宝塚ロックガーデン・中山連山
- ・[洛中]<例会>12/13 東山 36峰第4回7人,27 終い山行赤坂山6人<予定>1/10 福井(三十三間山)、17 比良(樹氷のコヤマノ岳テン泊),3/29 総会(京都アスニ一)
- ・[伏見] <例会>12/7 納山山行(東山トレイル)と望年会 20人,28 終い大文字16人<予定>1/10～11 黒斑山,15 つどい「テーピング」,25 周山黒尾山
- ・[明峯]<例会>つどい「冬の低山の楽しみ方」(服装,装備,食料,歩き方)<予定>1/9 新年会御池醉心 23人予定、2月の集い「筋肉はウソをつかない」
- ・[左京]<例会>12/6 芹生ツアー3人<予定>1/10 新春大文字山→三井寺
- ・[亀岡]12/8 金勝アルプス8人,14 半国山
- ・[山城]12/6 大和三山8人,1/8 ⑩周年記念行事の打合せ,30～31 竜ヶ岳富士山望む
- ・[福知山]12/6 虚空蔵山16人,1/31 雄鷹台山(赤穂市)バスハイク

連盟の取り組み、活動報告 (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

- ① 全国の第37回総会、2月14,15日東京市ヶ谷で開催予定。(会場) ビジョンセンター市ヶ谷、(宿泊) 東京セントラルユースホステル。
- ② 京都労山第61回総会 3月1日(日)。場所—京都教育文化センター pm 1時開場、1時半開始。
- ③ 積雪期搬出訓練 1月25日雨天決行。比良イン谷。9時集合、9時半開始、pm 3時半解散予定。

2月の事務局長会議は、2月3日(火)PM 7時半から。WEB専用会議とします。

2026年1月13日

京都府勤労者山岳連盟各会・クラブ御中

京都府勤労者山岳連盟

会長 中村 好夫

第61期定期総会の開催について

京都府勤労者山岳連盟規約 第9条1項にもとづき下記のとおり、第61回定期総会を招集いたします。

第61期定期総会では、京都労山の積み重ねてきた財産を糧に、次のステップへ「登山文化の発展・継承」「安全登山の普及」など創意を發揮して新たなチャレンジを行い、登山文化のさらなる発展、仲間を増やす活動を大きく進める決意を固めたいと考えます。又、今年度は60周年に当たり、「交流一世代間での経験と技術の継承」をテーマに活動を始めていきます。

京都労山の第61期定期総会を、下記日程と運営方法で開催します。つきましては、各会・クラブからの代議員の選出、報告をお願いします。あわせて、理事についても規約に基づき推薦(別紙)をお願いします。各会・クラブのご理解ご協力をお願いいたします。

記

京都府勤労者山岳連盟第61期定期総会

- ・議題 第60期活動報告、第61期活動方針(案)
第60期会計決算報告、同監査報告、第61期会計予算(案)
その他
- ・日時 2026年3月1日(日)午後1時30分～午後4時30分(予定)
午後1時00分から受付開始
- ・会場 京都教育文化センター302号室(3F)
京都市左京区聖護院川原町4-13
- ・代議員 京都労山規約に基づき選出をお願いします。(別紙参照)
- ・議長、書記、選管 議長は「福知山」「洛中」
書記は「左京」「右京」
選管は「伏見」「未定」にお願いします。

*選挙管理委員1名は、舞鶴労山が2025年12月解散したため、急遽公募することになり、立候補を求めます。

*2月15日(日)までに代議員、理事、大会役員を別紙でお知らせ下さい。

2026年京都府勤労者山岳連盟第 61期定期総会代議員登録票

代議員数については、2025年11月末の組織数調査に基づいています。
京都労山規約により選出してください。

各会・クラブの代議員数 代議員総数 69名

・右京勤労者山岳会	5名	・乙訓山の会	6名
・WAO亀岡	4名		
・丹波勤労者山岳会	1名	・洛中勤労者山岳会	6名
・左京勤労者山岳会	2名	・明峯勤労者山岳会	5名
・田辺山友会	5名	・やましな山の会	6名
・西山ハイキングクラブ	7名	・山城山の会	1名
・福知山山の会	4名	・らくなん山の会	4名
・樹の根17組	1名	・舞鶴山遊会	3名
・丹後山の会	5名	・伏見山の会	4名

*基本は会場参加、止む得ない場合はリモート可とします。

会・クラブ名	代議員数
代議員	氏名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

代議員リストは、2月15日(日)までに京都府勤労者山岳連盟事務局・西村までお知らせください。(西村まで返信メール etuji2525000@yahoo.co.jp 又は、FAX 075-962-5185にて)

*リモートでの参加者は、次のメールアドレスまで、件名に所属会、氏名を明記してメ

ール送信ください。

送信先アドレス (坪山) : zrxshock@yahoo.co.jp

2026年京都府勤労者山岳連盟第61期理事の推薦

理事については、2025年11月末の組織数調査に基づき、京都労山規約により推薦してください。

各会・クラブの推薦数 合計 41名

- | | | | |
|-------------|----|-----------|----|
| ・右京勤労者山岳会 | 3名 | ・乙訓山の会 | 4名 |
| ・WAO亀岡 | 2名 | | |
| ・丹波勤労者山岳会 | 1名 | ・洛中勤労者山岳会 | 4名 |
| ・左京勤労者山岳会 | 1名 | ・明峯勤労者山岳会 | 3名 |
| ・田辺山友会 | 3名 | ・やましな山の会 | 3名 |
| ・西山ハイキングクラブ | 4名 | ・山城山の会 | 1名 |
| ・福知山山の会 | 2名 | ・らくなん山の会 | 2名 |
| ・舞鶴山遊会 | 2名 | ・樹の根17組 | 1名 |
| ・丹後山の会 | 3名 | ・伏見山の会 | 2名 |

会・クラブ名

第61期理事	氏	名(ふりがな)
1		
2		
3		
4		
5		

*推薦理事リストは、2月15日(日)までに京都府勤労者山岳連盟事務局・西村までお知らせください。(西村まで返信メール etiji2525000@yahoo.co.jp 又はFAX 075-962-5185)

*各会より1名以上は、常任理事(リモート参加可)となっていただくようお願いいたします。

*第61期定期総会役員(下記の各会は総会役員をご報告ください。)

議長(福知山、洛中)、書記(左京、右京)、選挙管理委員(伏見、未定)

総会役員担当者

報告

2025 自然保護セミナー

12月13日(土) 教文センター301号

連続テーマ 第7回「北陸新幹線延伸計画」の環境問題を考える。

〈講演〉 巨椋池干拓地の鳥類と新幹線車両基地



13:30 開会 司会(射場) 挨拶(平尾) 講師紹介(入江)

13:40 講演 講師 坂根勝美氏(日本野鳥の会 京都支部副支部長)

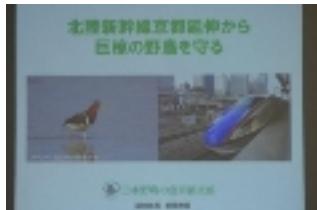
14:40 船津茂信氏(日本野鳥の会 京都支部支部長)

15:30 交流タイム 進行(入江) まとめ・感想文記入

16:15 閉会 署名のお願い(準備書ができるまで続ける) 12/20観察会の案内

〈参加〉 31名+講師2名、京都新聞記者

会員25(洛中3、右京1、左京7、西山1、やましな5、WA01、らくなん3、伏見3、田辺1、内自然保護委員8)、一般6



講演 野鳥の会



船瀬支部長(右)、坂根副支部長(左)

〈講演から概要〉

○巨椋池干拓地の環境破壊については誰も言及していません。京都市の地下を通る北陸新幹線は巨椋干拓地で地上に出て木津川の流れ橋下流を渡り、松井山手で再び地下に潜る計画。トンネルの出口が干拓地に設けられ、車両基地も建設。大久保バイパス付近が建設予定地。京都支部では日本野鳥保護連盟京都と関西ケリ研究会の連名で、3月10日、知事に要望書を提出。

○京都府が絶滅寸前種に指定しているコミミズク、久御山町が町の鳥に制定しているケリの生息と繁殖地。タマシギの幼鳥は雄親に育てられる。昨年もトンネルや車両基地の建設予定地周辺で2羽の幼鳥を育てていた。巨椋は京都府で最も多くの希少種が記

録される地域で「珍鳥の宝庫」。ケリやコミミズクのことを考えると干拓された後の農地の方が池の頃より鳥類の多様性が豊かになった。建設により巨椋に生息する野鳥の3種に1種は絶滅が心配されている。

○車両基地は最大30万m²。長野車両基地の2.6倍。長野車両基地は2019年の台風で浸水被害。対策として5m～10mの盛土の設置予定。「明かり区間」も設置されれば生息が脅かされる。新幹線は夜も走り、車両基地では夜間作業が行われる。夜行性のコミミズクは光や騒音で夜間エサを食べる障害になる。夜に声で求愛をするタマシギは騒音で声がメスに届かず”ペアリング”できず卵が産めない。(タマシギは雌が求愛する) 昼には重機やダンプカーで、そのダメージも相当なものとなる。

○巨椋池干拓地は?

平安時代は水運が盛んで、その後干拓が行われ1941年に完了。広大で人工物もなく外敵から卵やヒナを守りやすく、農地なのでエサもあり営巣に適している。「京都の自然200選」に選定。「希少鳥類の宝庫」として全国にも知られている。

○絶滅危惧種は?絶滅の危機に瀕している生き物で、環境省、近畿地区、京都府でレッドデータにあげられている。京都府は、タマシギ、コミミズク、チドリなど。

○日本野鳥の会京都支部は?

結成86年、会員750名、探鳥会や調査活動。風力発電やメガソーラの影響を調べる。南山城のメガソーラ建設時は、ブッポウソウへの影響調査をした。

交流タイム事前の質問への回答や、講演の内容への意見など交流

○大型風力発電の野鳥への影響

- ・丹後半島の計画は、野鳥の会も意見書を出した。1ヶ所は中止となった。北海道や東北で計画が中止になったところもある。
- ・猛禽類はエサを取る時、下を見て上を見ないので風力発電のプレートで体を切断。バードストライクで、希少な猛禽類が死亡。オオミズナギドリは、風力発電ができると影響が出る。渡り鳥のルート変更等の影響。
- ・ヨーロッパではゾーニング(立地規制)がされ、影響のないよう風力発電をつくる。

○温暖化による影響?

- ・オーストラリア、アマゾンで40°C以上日の日、巣が暑くて飛び出した雛数千羽死亡。
- ・海水温の上昇一魚が海中深く移動し、エサがとれなくなり海鳥が餓死。
- ・アメリカの保護団体一温暖化が進めば514種が全滅する。
- ・日本では、ムクドリの繁殖時期とエサとなるサクランボの時期がずれるミスマッチで餓死するヒナがでてくる。ライチョウもハイマツの実の時期がずれると絶滅する。

○農薬の使用について、鳥が入っていない休耕田は農薬を沢山使用している。巨椋では農薬の少ない休耕田、今年は1ヶ所。農薬の少ないところは半分の農家。休耕田でのネギ畠も農薬を使う。グループなどでは、農薬を少なくするなど自己防衛でやっている。田植え時期一田の真ん中でケリが巣をつくっていた場所は耕さずそのまま残している農家があった。八木町では、農家の高齢化で機械化して手をかけられず農薬を使う。少人数なら農薬を使いがちになる。

○企業が開発するとき一野鳥の会と企業のデーターの違い?

企業はデーター集めに、1年間もやれない。野鳥の会は長期に定期的にデーターを出す。巨椋池や京大の演習林ではクマタカの調査。桂川、宇治川などのデーターを蓄積していると開発の時などに役立つ。他の団体や会員からの情報も使う。早い情報を求めている。

○敦賀の中池見湿地では、調査や保護活動をする人と日本自然保護協会の力で湿地の中を通る計画が少し変更された。調査をすることが大切。

○久御山で新幹線中止の署名を町議会に出した。その内容は車両基地の工事で、農地がコンクリートになれば内水排出が出来なくなる。沿線居住者の立ち退き。農地面積の減少や水問題など。マスコミで取り上げてもらうことになり、有難い。

○向島では、大阪と東京の物流会社が、物流施設をつくるため住民の代表者に説明し既に工事が始まっている。宇治市も車両基地予定地近くに物流施設の工事をしている。

○野鳥の会

- ・秋期の調査で分かったことは、シギ・チドリの 16 種類→7 種に減った。消えた種類(ハマチドリ)
- ・貴重な自然と開発計画一自然を利用している場所を守ることが大切。本部の日本野鳥の会やケリの会からも要望を出してもらったらよい。本部が動くと効果も大きい。野鳥の会はこの時のため観察しているのではなく、楽しみながら調査している。

(やましな山の会 射場寿美子)

巨椋池干拓地 野鳥観察会

日 時：2025年12月20日（土）9:00～12:20

コース：近鉄小倉駅・西宇治公園～車両基地予定地～宇治市物流拠点建設地～小倉駅

参加者：29名+講師3名（野鳥の会京都支部：坂根副支部長、）、京都新聞記者、赤旗記者 会員23（洛中4、明峯1、右京1、左京3、やましな10、乙訓1、らくなん2、田辺1、うちスタッフ7）、一般6（内小学生1）

出現鳥：24種（オカヨシガモ、マガモ、コガモ、キジバト、イソシギ、カワウ、アオサ

ギ、ダイサギ、コサギ、トビ、ハイタカ、カワセミ、チョウゲンボウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ミヤマガラス)



西宇治公園



車両基地予定地？



宇治市物流拠点建設現場

2025/12/13(土) 京都労山 自然保護セミナー 参加者感想

- ・巨椋池干拓地が、鳥類の繁殖地であり、生態研究地であり、絶滅危惧種を含む渡りの中継地であるなど、とても重要な場所であることを知りました。
北陸新幹線延伸計画は、野鳥保護の面からも環境破壊につながる、とんでもないことだということがよくわかりました。 (やましな山の会 星野敦子さん)
- ・初めて野鳥観察会に参加させていただきました。巨椋池干拓地は野鳥が多く生息しているということは漠然と知っていましたが、野鳥の会の講師の方から説明を聞いて改めて認識しました。こんな自然の宝庫を人間の都合で壊しては絶対にいけないと感じました。それにしても、空高く飛んでいる鳥を見てあれはチョウゲンボウとかタヒバリとか言い当てられるのはすごいと感じました。お世話になりました。ありがとうございました。 (hnさん)
- ・自然環境保護のためにコツコツ調査を楽しみながら続けられている野鳥の会の方々に頭が下がります。巨椋池の野鳥について学習(今回2回め)させてもらい、あらためて守りたいと思いました。
- ・コミミズクがいつまでも来てくれますように！ 巨椋池干拓地が残ってくれますように！

- ・巨椋池干拓地のことは、聞き覚えがありましたが、貴重な鳥類の生息地であったことがよくわかりました。車両基地が建設されることで、希少種や絶滅危惧種の鳥達への影響が大きいとわかりました。次週の観察会が楽しみです。今回のような情報やお話をもっと広く市民に広げられたらと思います。
- ・巨椋池の歴史や役割、自然動物(野鳥)に大きな影響があることを、わかりやすく説明していただき、勉強になりました。調査の結果を国に示すことで、新幹線の通る場所を、注視できればと願っています。
- ・知らない鳥がいっぱい、京都にこんなにたくさんの野鳥がいるんですね。基地ができることで、エサ場や休息地がなくなるだけでなく、夜行性の鳥の捕食にも影響があるなど、考えたこともなかった事が起こるのだと知りました。生き物の暮らしも人間の暮らしも破壊して何の得があるのでしょうか。ありがとうございました。
- ・巨椋の、どんな視点で守るべき野鳥を分類するのか、がよくわかった。保護活動の訴えで、調査の重要性、必要性がよくわかったし、そんな機会があれば参加したい。
- ・動画で鳥たちの生きた姿が見られ、巨椋池干拓田の自然環境を守ることがいかに大切であるかがよく知れました。新幹線延伸の問題点4つにプラス大事な1つが取り上げられてなかったのですね。もっともな1点大いにアピールしていかなければと思いました。
- ・巨椋池干拓地の野鳥の種類の多さと貴重種の多さに驚きました。それを持続させるために新幹線の計画は中止するしかありません。もっとこの自然の貴重さをアピールしてほしいです。

巨椋池干拓田における野鳥の生息状況がよくわかり、これらの問題点を訴える事例としても参考になりました。

- ・北陸新幹線と、巨椋の野鳥保護。頭では解っているつもりでも、動画や写真を見せてもらってよくわかりました。(とはいって一回聞いていただけではよくわからないので、2回来ましたの声に成る程とうなづく)。北陸新幹線、地下ならまだしも、地上に出てきては放っておけない。きっちり調査してデータを取った上で要望するという野鳥の会の方の話に成る程なあと思いました。北陸新幹線延伸反対でしっかり連携せんとアカンですね。12/20 現地観察会が楽しみです。野鳥の会、自然保護委員会のみなさん、ご苦労様でした。有り難うございました。(左京 岩根浩さん)
- ・小さな自然破壊が生き物にとっては致命的になることを改めて学びました。
- ・2024年12月にアセスの一時停止を求める会が主催された学習会の時より、延伸計画に関連して問題点を詳しく挙げられて、わかりやすく勉強になったし、その分、非

常に危機感を感じた。新幹線延伸が計画される前から定点で継続して調査をされていることの意義がよくわかった。動画で見る野鳥の様子は、そこを住処として暮らしていることが実感でき、大変良かった。京都新聞はセミナー後半を取材、記事にされたが、前半も新幹線計画に絡んで重要な内容だったので残念。報道は市民に知らせる役割として重要と言われたこともその通りだと思うし、私たちは今後も積極的に記事にしてもらうことを要望していきたい。(左京 入江)

《企画進行についての意見》鳥の姿、鳴き声など、とても興味深く楽しませていただきました。

2025/12/20 巨椋池干拓地 現地観察会 感想

- ・この様な観察会には初めて参加しました。たくさんの野鳥が見られて良かったです。チョウゲンボウが印象的でした。案内がとても分かりやすくていいねいで良かったです。この様な野鳥が暮らすこの地に車両基地は作ってほしくないです。
- ・はじめて参加しました。野鳥の会の方のガイドで、いろいろな鳥の名前を知ったこと、鳥が見られたことがとても良かったです。この自然は一度切り取ったら再び戻ってこないので、ずっと残しておいて、野鳥のすみかや世界を守っていかなければならぬと思いました。
- ・歩くのが速いのでコンビニ等でトイレも行けなかった。現地の状態がよくわかった。
- ・初めての巨椋池干拓地でした。もっと緑や池、わんさかと鳥がいるのかなあと思っていました。イメージとは大分違っていました。でも実際に目にし、野鳥の会の方の説明でずいぶん理解が出来ました。野鳥ウォッチング素人の私にも野鳥の生と環境を守り大切さがわかりました。車両基地予定地と物流拠点工事の現場を見て驚きました。行政には何でもない土地、金儲けの対象でしかないというヒドさ!、実際に見て行動することの大切さがよくわかりました。野鳥の会のみなさん有り難うございました。
- ・車や電車で眺めていた巨椋池干拓地を野鳥観察会でウォーキング! お天気に恵まれ興味深い催しをありがとうございました。…が、お話しにもあったように事態は深刻ですね。京都新聞でも目にしていましたが、現場に立つとトンネルの出入口や車両基地の建設がリアルに迫って来ました。野鳥たちの大切な生息環境を守るために、この現状を広く人々に知ってもらうことは大事ですね。(洛中 前田正子さん)
- ・思った以上に多様な鳥たち、その餌となる植物や虫がいることがわかり、生態系の観点から田畠として残すことの必要性を大変痛感しました。(一般 富樫豊さん)

- ・北陸新幹線中止の請願を久御山町に11月提出しています。今年最後の請願審査になります。賛成討論で野鳥のことも訴えます。宜しくお願ひします。(一般 翼悦子さん)
- ・自分ではなかなか見つけられない鳥が野鳥の会の人のおかげで見つけることができました。今、干拓地内の向島で物流センター3箇所が工事中。大阪と東京の資本。宇治市の物流センターは車両基地の近くで工事中。農地壊したらあかん。生態系は守らないとあかん。(一般 山田こうじさん)
- ・野鳥がすむ貴重な干拓地を新幹線が通る計画に加えて物流センターとして使用うする工事が進んでいます。この場所はこのままにしておくことは人にとっても生き物にとっても大事だと、野鳥の会の話を聞いて、現地を見て強く思いました。地球温暖化のためにも新幹線はいりません。(やましな 射場さん)
- ・セミナーで「巨椋池干拓地」の話を聞き、興味深く現地観察会に参加しました。

野鳥の会の講師の方は、遠くの動態を素早くみつけて、その姿や鳴き声で鳥の名前を特定され、この広大な干拓地が野鳥や渡り鳥の住み処であったり、また北方から渡ってきて休養の地であったり、繁殖地であったりと、野鳥愛篤く説明を受けました。モズ、ハクセキレイ、コサギ、冬期に南方へ渡り越冬するチョウゲンボウやタヒバリ、ミヤマガラス、イソシギ等々、初めて聞く名前の鳥達に出会いました。暖冬の為か、今年は渡りが遅いとのことでした。大きな鳥は小さな鳥を狙い、小さな鳥は田畠の草や実やミミズなどの虫を狙い、自然の循環となっている。見渡す限りの広々した田畠や、その空に様々な鳥が見られ、この豊かな自然でこそ、希少種や絶滅危惧種という貴重な野鳥が生育しているということでした。北陸新幹線延伸案は、北部からトンネルとなり大深度工法により市街地から京都駅を経て、上鳥羽で地上に出て、阪神高速8号線第二京阪道路をまたぐ高架が建設され、この干拓地を通過したり、またこの地の大部分を嵩上げして大規模な車両基地を造るという計画です。常に身の安全のために警戒しながら生きる動物達は敏感で、道路工事の騒音や空気汚染、水の枯渇、豊かな自然環境の減少衰退といったこの環境が失われると休養地や繁殖地を失うことになります。また20年という長期に渡る工事期間は壊滅的です。また工事トラブルが必ず発生し、工事費もさらに膨らむに違いない。昨今道路が整備され随分早く北部や小浜に行けるようになっていてリスクの高い新幹線は不要、地下深い新幹線トンネルでも地震が起きれば利用出来なくなるに決まっているという意見が殆ど。回復が望めない稀少な自然の破壊、莫大な税金を投入する不要な新幹線計画、一部の政治家やJR西日本などによる強引な姿勢に改めて疑

問を抱きました。野鳥の会の方々の新幹線問題への危惧を強く感じ取り、大変勉強になりました。（洛中 牧村さん）

・絶好の観察日和で、参加者全体で24種もの野鳥に出会うことができ、参加の皆さんにも喜んでいただけたように思います。と同時に、これだけの巨大工事で失われるものの大きさを現地でこそ強く感じました。干拓地の一部では、宇治市による物流拠点建設の巨大工事がすでに始まっていました。車両基地予定エリアはそれよりずっと広範囲です。複雑に絡む利権など、一市民の手の届かないところで自然破壊に向かって突き進む現実に無力感を禁じ得ませんが、私たち勤労者山岳連盟はどう役立っていくのかを考えさせられ、諦めずどんどん手を打って行かなければと、力をもらった連続学習会でした。先週のセミナーで言われたように、「絶滅危惧種に影響」など、この場所での希少性をつくことが大事、という点にすごく納得します。鳥類を楽しみながら長年調査されているデータはまさに、科学的根拠を持った証拠としての威力を発揮すると思います。昨年度の私たちのセミナーは、「北陸新幹線敦賀駅近くの中池見湿地（ラムサール条約締結）のエリア内に新幹線トンネルを掘られたことで希少種のトンボ複数の生息に影響が出た」ということを取り上げ、地元NGOと一緒に運動された日本自然保護協会の方にお話しいただいたのですが、テーマはまさに「市民によるモニタリング調査の重要性」でした。湿地に長年関わり調査してきた地元NGOがJRTTを動かしたというわけです。それでも失われた生物多様性が戻ったわけではありません。それを教訓に、アセス準備書を出させないことを最大の目標にしないといけないという思いを強くしました。ガイドの野鳥の会の方が「この干拓地は、行政にとっては何の役にも立っていない空き地にしか見えていないようです。」と言われました。世界中で、長い年月かかって作り上げられてきた自然の豊かさが、経済目的で簡単に破壊されてしまう。その象徴的な現場だと思いました。私たち人間は地球に生きる動植物を糧としてしか生きられませんが、動植物の多様性・複雑な関係性は目には見えにくく、気がついたときには遅いのです。（左京 入江）

遭難対策部/救助隊

「積雪期搬出訓練」のご案内

実施日：2026年1月25日（日）

受付：比良イン谷口トイレ前広場 9:00 集合
開始 9:30 解散 15:00

訓練場所：正面谷周辺

対象者：雪山ハイキングや雪山縦走をされる方、
これから参加したいと思われる方

内容：ビーコン・プローブ 訓練、負傷者の梱包、堂満第1ルンゼからの搬送

持ち物：積雪期の日帰り個人装備

ビーコン、ハーネス、シャベル、プローブ、ヘルメット、登攀装備
登攀装備は持っていないなくても参加可能です。
アイゼンは原則使用しません。
(ビーコン・プローブ訓練の時は見学だけでも勉強になります)

締め切り：2026年1月18日（日）

各会にて参加者の集約をして頂き
遭難対策部右京労山・村上明彦までメールにてお申込み下さい。
アドレス vup884@wish.ocn.ne.jp
申し込み用紙は、1月「京都労山」にて配布します。

その他：当日の参加者の緊急連絡先（留守宅）は各会で把握して下さい。

*複数回参加の方は補助講師のお手伝いをお願い致します！

「連盟冬山連絡会」報告

担当：遭難対策部・冬山連絡会

日時：2025年12月5日（金） 19:30～21:00

参加者：坪山（明峯）、岩根（左京）、村上（洛中）、高野（伏見）、
大江（洛中）、原田（洛中）、小幡（らくなん）、金山（福知山）、
杉島（右京）、村上（右京） 計10名

冬山に向けての「連盟冬山連絡会」を開催しました。
山行計画を確認しアドバイスなど話し合いました。
リスクのある雪山で事故や遭難を回避するために気をつけたいこと。
ベテランの方から過去の経験なども聞かせてもらいました。凍傷、天候急変、強風、
踏み抜き滑落、ホワイトアウトなど。
近場の雪山ハイクから北アルプスまでこれから冬山を目指すためのいい勉強会になりました。
素晴らしい雪山を満喫するための準備・計画をしっかりしたいと思います。

岩根（左京）

12/27～31 「北アルプス・涸沢岳西尾根～奥穂高岳」1名、テント泊

村上（洛中）

2/6～8 「ハケ岳、赤岳・横岳・硫黄岳冬季縦走」参加者未定、小屋泊

高野（伏見）

1/10～11 「黒斑山」4名参加

坪山（明峯）、冬山勉強会

12/19～21 「富士山・6合目雪上訓練」 3名参加、小屋泊

2/6～8 「経ヶ岳・雪上訓練」 3名参加、雪洞泊

2/20～23 「木曽駒ヶ岳・」 3名参加、テント泊

3/19～22 「爺ヶ岳・」 3名参加・テント泊

大文字山（465.2m）

天候不良による中止の場合は連絡をします。

やさしい雪見山行です。

白い雪景色の大文字山を期待してゆっくり登りましょう

「山行日時」 2026年 2月 15日（日）

「集合場所」 JR 山科駅前 集合時間 8 時 30 分

「コース」 JR 山科駅～柳山、薩山～毘沙門山～雨社～大文字山～七福思案処
～日向神社～地下鉄蹴上駅

歩行時間約4時間 30分 歩行距離約8km

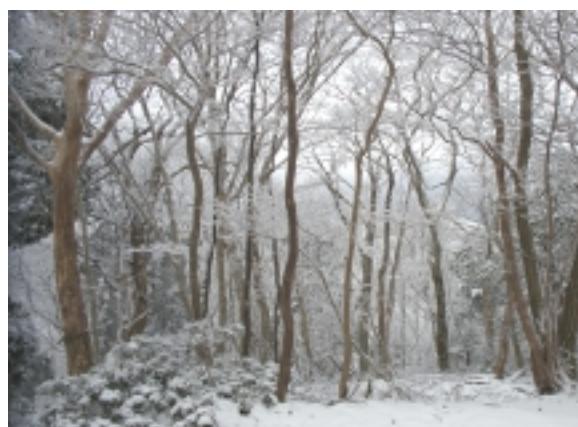
[持ち物] 日帰り一般山行装備（地図、周辺マップ等 持参お願い致します）

[締め切り] 2月 12日（木）

[申込み先] 各会の女性委員

又は、洛中労山 進藤寿美子 携帯 080-3799-0887 (C メール
可)

G メール : sumiko.shin@gmail.co※申し込みの際に（所属会名）（氏名）
(携帯番号) (緊急連絡先) を必ず知らせて下さい ※男性の方の参加大歓迎です



京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

安祥寺上寺跡右俣登山道周辺の整備を行います。ここは谷が狭く、太く長い倒木が密集しているので今まで以上に危険が伴います。作業前には十分に打ち合わせと危険予知を行い、作業中も声を掛けあってケガのないように行動します。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。伐採する倒木には1本1本管理事務所の伐採許可番号札が貼り付けられています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日：2月21日 3月7日（いづれも土曜日）

本降りは中止。小降りは状況によって実施。天候が怪しい時は前日か当日の朝早く判断して中止メールを送ります。

★申し込み締め切り：実施週の月曜日

★集合場所：JR 山科駅改札口付近 8時30分には出発します。

★参加申込先：連盟登山道整備担当 やましな山の会 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール 2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp

留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カッパ、ヘッドラップ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸します）、長靴（任意）、スパッツ（任意）、笑顔（必携）必要に応じて簡易ハーネス、カラビナスルー装備、確保装備

★共同装備：9mm.8mmロープ、ビニール紐、カラビナ、ダック、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
 - ・木が1/3切れたら声を掛けること。1/3でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
 - ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
 - ・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
 - ・コロナはまだ続いている。インフルエンザも心配です。
- 本人や同居家族で微熱や、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行って下さい。



京都府連盟～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：やましな山の会 青山郁夫

2025年12月6日（晴れ）

参加者 やましな：青山郁夫、久子 右京：西村澄子 市岡晴美 田辺：宮内毅

乙訓：西村悦治 京都大阪森林管理事務所：山中亮 上田弥侑 8人

山科駅 8:30--9:02 林道入り口 9:08--9:20 谷止治山ダム合流 9:27--9:34 安祥寺上寺跡
左俣 15:51--(12:50 右俣左俣案内 13:27)--15:57 谷止治山ダム 16:01--16:45 山科駅

今回は大勢の参加で予想以上に整備を進めることができた。2月に続いて今回も京都大阪森林管理事務所の方に参加して頂いた。若者2人。ぐっと、参加者の平均年齢が若返った。お二人とも山屋さんではないがそれでもお二人の敏捷な動きに感心した。細かいことを言わなくても自主的に体が適格に動いていた。急斜面でも足元も実にしっかりとおり手も良く動いており安心できた。

大阪森林管理事務所の方とご一緒に作業ができたことに加え、これから整備する場所、これまでに整備した場所を見てもらえて嬉しかった。

西村澄子さん

三ヶ月ぶりに来ました。人数がたくさんいたので助かりました。ありがとうございました。

市岡さん

人数が多くて沢りました。今まで気づかなかったけど、あっちこっちにけんぼしながら落ちていました。

宮内さん

一年の締めくくりに参加できてよかったです。来年もよろしく。

西村悦治さん

三ヶ月ぶりに参加。久しぶりに山の空気がすえた。[今日は新しい雪山用の靴を履いて](#)來た。汚れた。

山中さん

毎月報告書を読ませてもらって、実際やらせていただいて、大変さがよくわかった。平均70越えと伺っているが、良く動かれて感心した。お互い声を掛け合い、チームワークの良さを感じた。

[明日は筋肉痛間違いなし](#)

上田さん

ダムの監督をしている。安祥寺山の整備をこんなにやっていただいていることが実際にやってみて骨身に沁みた。山を綺麗に整備していただいてありがたい。

郁夫さん

管理事務所の方に実際に見ていただいて、やっていただいてよかったです。

久子さん

毘沙門は既に散紅葉。地面が紅葉していました。森林管理事務所の方に来ていただくと、張り合いが出ます。参加人数も多く、午前中は3か所に分かれて作業ができました。

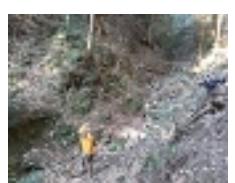
台風の倒木も月日が経ち、朽ちて倒れて、いつまた細い山道を塞ぐか危惧されます。これから上流に向かうにつれて、伐採した木切れの置き場所を探すのが課題になります。来年も安全第一で取り組みたいと思います。



もうすぐ現地
黄色い服は山中さんです



こんなだったのが



こんなに綺麗になりました



谷の朽木を切る上田さん
誰かに似た。



切った木をみんなで運ぶ



見たか！この迫力
78歳の頑張りだ



綺麗になったねの記念撮影

2023年から全国連盟から登山道整備に関して補助金が出るようになりました。

全文を紹介します。

「 安 全 対 策 基 金 」 運 用 規 定

登山道整備補助金について

- ① 資金総額を年間30万円（1団体5万円を限度）とする。
- ② 申請者は労山会員とする
- ③ 応募締め切りは5月末日とする。全国労山事務所に必着とする。
メール、郵便、FAXで受け付ける。
- ④ 申請必要書類
 - 申請書（所定用紙） 事業計画書 予算書
- ⑤ 審査機関は全国理事会、遭対部に置き、審査によって順位、及び補助額を設定する。
- ⑥ 資金を提供されたものは事業3か月以内に報告書および決算書を提出することを義務付ける。
- ⑦ 対外的に報告する場合は、労山からの資金提供を受けたことを明記する。

京都府連盟～大文字山登山道倒木整備 2025年のまとめとこれまでの実績～

連盟登山道整備担当：やましな山の会 青山郁夫

京都府連では、2019年から、これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために、安全第一で楽しく笑顔で美しく登山道を整備しようと京都大阪森林管理事務所(林野庁機関)の承認を受けて国有林内の登山道整備を続けています。

整備を始めた2019年からの通算では89回実施し、延べ427人参加、404本伐採しました。この他にやましな山の会例会、個人山行でも整備を行いこれまでに28回実施し、延べ81人参加、101本伐採しています。

2025年は12回実施し、右京労山 延べ29人、やましな山の会 延べ26人、田辺 延べ7人、乙訓 延べ4人、明峯2人、伏見1人、京都大阪森林管理事務所から4人、合計延べ73人参加し56本伐採、と多くの協力で無事に無事故で登山道倒木整備を終えることができました。登山道がとても美しくなりました。個人や単一の会だけではとても出来ないこと、少人数でも連盟として継続的に取り組くめば大きな力になることが良く分かりました。

今年の特徴は6労山もの参加があったこと、京都大阪森林管理事務所から2回4人の参加があり内1回は管理事務所長さんが参加され一緒に整備ができ京都大阪森林管理事務所にこれまでの整備箇所と今後の整備箇所を見てもらえたことです。

これからも、京都大阪新管理事務所の指導の元、府民の山、大文字山の国有林内の登山道をハイカーや小さな子供たちも安全に安心して歩けるように安全第一で整備を続けて行きたいと思います。

実施回数	参加者	伐採本数	種別				幹の太さ				整備面積 ㎡
			桧杉	広葉樹	松	枯木朽木	極	太	中	細	
2019年	10回	92人	97本	55本	35本	0本	7本	7本	27本	45本	18本
2020年	9回	30人	31本	15本	6本	0本	10本	1本	3本	21本	6本
2021年	7回	23人	36本	13本	7本	0本	16本	0本	5本	20本	11本
2022年	13回	48人	36本	19本	6本	0本	11本	1本	18本	16本	1本
2023年	21回	90人	78本	52本	7本	0本	19本	0本	36本	30本	12本
2024年	17回	71人	70本	33本	2本	0本	35本	0本	24本	39本	7本
2025年	12回	73人	56本	27本	2本	3本	24本	0本	18本	28本	10本
合計	89回	427人	404本	214本	65本	3本	122本	9本	131本	199本	65本
											11250

幹の太さ：「極」40cm以上 「太」20~40cm未満 「中」10~20cm未満 「細」~10cm未満
登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施している。伐採する倒木には1本1本、管理事務所の伐採許可番号札が貼り付けられている。

2022年5月14日以降、体験林業申請書を提出して整備を実施している(整備面積も記入)

	参加者																			
		やましな	右京	田辺	乙訓	洛中	左京	伏見	龜の坂	らうなん	明星	西山	Lenten	湖南山 友会	神戸み など山 友会	忍足山 友会	内岳連 山友会	麻耶山 友会	京都大防森林 管理事務所	計
2019年	34人	9人	1人		24人	10人	5人	2人	2人	5人	1人				1人	2人			82人	
2020年	14人	11人							2人				1人			2人				30人
2021年	12人	10人				1人														23人
2022年	28人	20人																		40人
2023年	45人	38人	2人								1人				1人	3人				90人
2024年	34人	37人																		71人
2025年	26人	29人	7人	4人					1人			2人						4人		73人
合計	183人	154人	10人	4	25人	10人	6人	4人	2人	3人	2人	1人		1人	5人	1人	2人	4人	427人	

	整備場所												
	持軍塚	大日山	F尾根	新島-1	新島-2	金魚の池	奥の谷道	左俣	ダム上部	右俣	D尾根	林道	計
2019年	2回	2回	1回	5回									10回
2020年						8回							9回
2021年						7回							7回
2022年				3回	9回	1回							13回
2023年				3回	1回		17回						21回
2024年							10回	3回	2回	1回	1回	1回	17回
2025年										9回	1回	2回	12回
合計	2回	2回	1回	5回	6回	26回	1回	27回	3回	11回	2回	3回	89回



	整備期間	回数	整備場所
持軍塚	2019/3/24～2019/4/21	3回	持軍塚二ノ谷地
大日山	2019/5/19～2019/6/16	2回	大日山南西尾根上部
F尾根	2019/7/21～2020/9/26	6回	F尾根中間部
新島-1	2019/8/18～2019/12/8	8回	新島裏のお墓の南側T字路の南東の谷
新島-2	2022/7/2～2023/2/5	7回	新島裏のお墓の南側T字路の南
金魚の池	2020/1/19～2023/1/22	27回	金魚の池周辺
奥の谷道	2020/10/10～2022/11/6	14回	安祥寺林道の奥の谷道
左俣	2023/3/3～2024/12/15	30回	安祥寺上寺跡左俣
ダム上部	2024/4/14～2024/7/21	3回	安祥寺林道段野谷線上部治山ダム上部の谷
右俣	2024/7/20～組織中	11回	安祥寺上寺跡右俣
D尾根	2024/6/16～2024/8/18	3回	D尾根の左俣駆け付き付近
林道	2024/11/24～2025/5/24	3回	安祥寺林道段野谷線林道

整備期間は連盟企画の他に、やましな山の会例会、個人山竹企画を含む



第 53, 54 回 能登半島地震復興支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

第 53 回 活動日：2025 年 12 月 13 日, 14 日 七尾市 走行 763km

参加者 やましな：青山郁夫 久子

12/12 曇雪雨 京都 9:57—氷見海浜植物園—太左エ門海鮮丼—19:10 農遊庵泊

12/13 曇 農遊庵 7:37—石崎保育園 10:13—被災者宅活動—保育園 16:53—農遊庵泊

★参加者：全体で 83 人 私たちの班 10 人 2t トラック 1 台 軽トラ 1 台 セレナ

★活動内容：青葉台の自費解体のおうち物品分別搬出搬送

12/14 雨 農遊庵 7:30—保育園 10:05—活動—保育園 18:10—途中で仮眠—23:54 京都

★参加者：全体で 62 人 班員 9 人 軽トラ 3 台

★活動内容：伊久留町の公費解体のおうち物品分別搬出搬送

青山郁夫

12/13 は自費解体のおうち。解体の時に家の中に物が残っていると有料で出さなくてはならない。そんな家主さんの負担を少しでも楽にしてあげたいとみんな頑張った。

12/14 は 11/29 に行った伊久留町 1 人暮らしの精神を病んでいる甥っ子さんのおうちだった。前より元気にされていた。早く新しい家が見つかるように願ってならない。

青山久子

ご実家が空き家ということで公費解体が叶わなかったという依頼主さん、妹さんと二人ずっと我々の活動を外で見ておられた。もう少し情報が届いていたら公費解体できたかもしれない悔恨の思いを滲ませておられた。片や公費解体が迫っていても住む家が決まらず不安な依頼主の方、活動の手を止めて話を伺うことで依頼主さんの気持ちが前に向いたり、表情が和らいだり…これもボランティアの大切な活動の一つ。



12/13 自費解体の家



83 人の参加でした



12/14 これは残す大事な物



久子さん活動報告します

第 54 回 活動日：2025 年 12 月 21 日, 22 日 七尾市 765km

参加者 やましな：青山郁夫 久子

12/20 晴 自然保護巨椋池観察会—京都 13:07—19:22 七尾城登山口駐車場車中泊

12/22 雨 駐車場 7:16—石崎保育園—被災者宅活動—7:50 保育園 16:45—18:32 農遊庵泊

★参加者：全体で 50 人 私たちの班 9 人

★活動内容：自費解体のおうち(12/13 に行った家)の物品分別搬出搬送

12/22 晴 農遊庵—保育園—9:56 藤野町のおうち 14:39—ななか—保育園—22:29 京都

★参加者：全体で 16 人 班員 4 人 軽トラ 2 台

★活動内容：地震とは無関係の福祉ニーズの要支援者のおうちの物品分別搬出搬送
青山郁夫

12/21 は 12/13 に行った自費解体のおうち。本降りの中、みんな黙々と家具類を運びだした。後 2 回はかかるだろう。解体までに全部運び出してあげたい。

12/22 は今年最後のボランティア活動。今回は初めて地震とは無関係の福祉要支援者のおうちに行った。一人暮らしをされるので出来るだけ家中を整理したいとの依頼だった。病弱な身を屈めて棚の奥から出てきた昔の写真を 1 枚 1 枚見ておられた。その気持ちが良くわかる。明日の我が身を見ているようであった。いつまでもお元気でね。

これからはボランティアの内容も変わってくるだろう。ボランティアの募集が終了するまで困っている人のお手伝いをしてお役に立てるように頑張りたいと思う。

青山久子

1 日目、一日中雨降り…しかし活動は雨でも変わらず家財の搬出が行われます。今日は 2 階の 3 部屋の家財をすべて出しました。依頼主さんもリサイクル家電の回収チケットを購入されたり、自らエアコンを外したりと積極的でした。自費解体を決断されたようです。2 日目は、4 人で高齢者宅に新しい介護ベッドを入れるにあたっての家財整理をしました。事前に家庭事情を聞いてはいたのですが、奥様が認知症になられた後の家庭の様子をさまざまと見てショックでした。今年の活動は今日で終了。



12/21 本降りの中で活動



12/22 本年最後の活動は要支援者のおうちでした。みんな元気いっぱい



2025 年のボランティア活動

能登半島復興支援ボランティアの一般募集は地震直後の 2024 年 1 月から始まり 2026 年の 3 月で全て終了する予定と聞いています。ただ、一般募集はなくなりますが NPO による活動はそれ以降も続けられると思います。

京都府連盟の能登復興支援ボランティア活動のまとめはボランティア一般募集が終了してから報告することとして 2025 年分は簡単な実績のみ報告いたします。

連盟ボランティア登録者数：18 人 実質参加者：7 人 延べ参加人数：61 人

活動回数：29 回 活動日数：60 日間（内石川県連取組活動 6 日間）

活動先：輪島市 8 回 10.5 日 輪島市門前 4 回 5.5 日 輪島市町野 3 回 6 日

七尾市 26 回 42 日 珠洲市 2 回 2 日 志賀町 2 回 5 日

被災者宅活動軒数：輪島市 5 軒 輪島市門前 3 軒 輪島市町野 1 軒 七尾市 47 軒

珠洲市 3 軒 志賀町 10 軒 計 69 軒

第14回実行委員会(京都労山60周年記念事業)

記録 平尾

2026年1月14日(水) pm 7時30分~8時45分 (リモート専用)

参加者：宮内・安倉（田辺）、沖（山城）、岩根（左京）、高木（右京）、野原（WAO）、岩井（伏見）、金山（福知山）、青山（やましな）、奥田（らくなん）、花折（明峯）、山本（洛中）、西村、坪山、平尾（連盟）/15人（敬称略）

<今回の内容>

1 実行委員会の体制

実行委員長：青山、副実行委員長：金山、総務担当：西村を了承した。

相談役はおかげ、実行委員会内で相談していく。今後会計を決めていく。

2 記念事業のテーマ 「交流一各会、世代間での経験、技術の継承」

今年秋の「2026 交流会」を記念事業のメインとする。担当は田辺、らくなん、山城の3会で、実行委員からサポートに入る。田辺（宮内）、らくなん（奥田）、山城（沖）、西村のグループラインをつくった。

3 第1回ライン会議を開催 (12/23)、11月上旬の土曜日で、1日かけて講演会、研修会をする。できるだけ、若いメンバーが参加しやすい企画を持つ。泊なしで、夕刻より希望者で懇親会を計画。講演会参加費は無料、懇親会は個人負担。公営の施設で、交通の便のよい京都駅周辺の会場を検討し、「京都テルサ」（京都市南区）がベストとなった。京都駅八条口から徒歩15分。近鉄東寺、地下鉄九条から5分。会場内に廉価でできる懇親会場があり使い勝手がよい。192人用のセミナー室が午前午後通じて86,020円、11月7日(土)で仮押えをした。

講師を次回までに考えてくる。候補（渡辺直子、小松由香、山本正嘉、草川啓三等）

会場は300名規模のところを担当で再検討し、事業予算を常任理事会へ示す（～1/26）

4 会員数1000人を目指す。今年1月で17労山895名が現状で、1000人までは、100人強の会員増加が必要。組織の維持には、会員の増加と世代交代は必須条件となり、京都労山全体で有効な方策を考えていく。

5 記念誌は、2027年3月発行、無料配布とする。

第1回グループライン会議開催 (12/24)、近藤、高野、西村の3名で開催。1000部、100頁・表紙4枚位をカラーの条件でプリントパックに仮見積。約17万円。担当に分けて業務を進める。次回は全員参加で会議を持つ。

6 記念山行は、毎年ハイキング委員会で企画している交流ハイクを充てる。

春はハイキング委員会、秋は交流会担当の3労山を担当したい。

クライミング委員会の交流山行も可とする。

7 前回、大文字山登山道整備に60周年記念の冠をつけてリスクの少ない山域での実施が提案されたが、内容面がポピュラーでないと取り上げ自体に反対の意見もあり、今回記念事業としては見送ることになった。

次回、第15回実行委員会 2月18日(水) 19時半より WEB

日本勤労者山岳連盟の第37回総会を招集します

地方連盟代表者

2025年10月30日

全国役員のみなさん

日本勤労者山岳連盟

副会長 今村 正一

日本勤労者山岳連盟 規約 第9条にもとづいて下記のとおり、第37回総会を招集いたします。

本総会では、世界平和を希求し、登山文化を広げ、組織数の回復、遭難死亡事故の撲滅、気候変動への警鐘などに積極的に取り組み、労山組織の新たな発展を探るべく、活発な論議が期待されます。

万障お繰り合わせの上、出席くださるよう要請いたします。

記

日 時 2026年2月14日（土）午後1時 開会

2月15日（日）午後1時 閉会予定

会 場 ビジョンセンター市ヶ谷

住所 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21 山脇ビル 受付3階

電話 080-3918-8661

<https://www.visioncenter.jp/ichigaya/access/>

宿 泊 東京セントラルユースホステル

住所 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ18階

電話 03-3235-1107

<https://tcyh.jyh.jp/>

議 題 1 第36期下期の活動総括と第37期上期（2026年度）の活動方針

2 第36期の財政活動総括と決算報告及び37期の財政方針、予算の策定

3 全国連盟役員の選出、その他

- 総会構成 (1) 地方連盟ごとの代議員は、評議会で確認された比率で選出された代議員および正副会長・理事・監事によって構成されます。
- ※ 代議員は各地方連盟（北海道については各地区連盟）ごとに、次の比率で選出する。
1～300人＝1人、301～600人＝2人、601～1000人＝3人、
1001～2000人＝4人、2001人以上は5人
- (2) 地方連盟は総会定数にしたがって代議員を選出して登録して下さい。代議員の登録締切りは1月31日（水）必着。期限厳守のこと。
- (3) 会員の総会傍聴者数は、当該地方連盟の代議員数を限度とします。但し、要請があつて理事会が出席を求めた場合は、傍聴者の数を増やすことができます。
- (4) 全国役員（正副会長・理事・監事・専門委員）は代議員になることはできません。
- (5) 35期下期の連盟費が12月末に完納されていない場合、総会代議員権は保留されます（但し、連盟費の納入期限は11月末）。
- ※ やむをえない事情で総会に代議員を派遣できない場合でも、総会成立との関係がありますので、代議員を選出の上、総会議長宛て委任状を提出してください。書式は自由です。
- (6) その他の必要事項
- ① 代議員・傍聴者の登録、全国役員の登録については、代議員登録用紙（後日送付）を使用して、1月31日（水）までに全国事務局に提出して下さい。
Eメール、FAXでも結構です。
- ② 参加費は前回と同じ出席者1名につき5,000円とします。
当日ご持参ください。
毎年、必ず当日に宿泊をキャンセルする方がいますが、宿泊当日のキャンセルはできません。全額いただきます。変更は1週間前まで。
遅刻・早退があつても5,000円です。
- (7) 代議員の交通費は2名まで支給します（領収書が必要です）。
- (8) 各地方連盟の活動報告を「総会資料集」に掲載します。後日送付する用紙で、2026年の1月31日までに全国事務局までお送り下さい。
Eメール、FAXでも結構です。

2026 年度の全国的な規模の集会・会議予定

第37期上期(2026年度)

機関会議・集会

第37回総会	2月14日～15日 (東京・ビジョンセンター市ヶ谷)
全国遭難対策担当者会議	7月4日～5日 (東京・全国連盟事務所)
全国自然保護担当者会議	11月14日～15日 (近畿地方)

行事・集会

第40回全国雪崩講習会	1月30日～2月1日 (長野県・梅池高原)
全国ハイキング交流集会	6月13日～14日 (石川県)
全国海外山行交流集会	11月28日～29日 (東京・全国連盟事務所)

国際会議・集会・行事

アジア山岳連盟(UAAA)年次総会	未定 (中国・重慶)
-------------------	------------

友好山岳団体との共同の集会・会議など

全国山岳遭難対策協議会	7月 日 (東京・文部科学省)
第10回「山の日」記念全国大会	8月10日～11日 (岐阜県高山市)

No.188 蒜山(上蒜山 1202m・中蒜山 1123m)

2009.11.21(土)～23(月) 中国地方単独山行

11.22(日) 上蒜山スキー場Pより上蒜山～中蒜山縦走

<コースタイム> 上り 1h15(2h)/下り 1h20(2h20)/計 2h35(4h20)

<まとめ・報告>

22(日) 上蒜山スキー場 P～上蒜山～中蒜山～塩釜冷泉登山口

14:06 上蒜山スキー場P。この時間から登ろうか諦めようか迷っている処へ5人程下山。

14:10 今からなら何とか山頂往復出来そうだ。意を決して上蒜山へ向かう。初めは牧場への農道。スキー場を見乍ら登る。紅葉がまだ美しい。

14:22 百合原牧場登山口。牛が逃げない様両側に鉄条網が張られゲートを乗り越えて登山道に入る。樹林帯手前で下山して来た2人とすれ違う。ここから樹林帯の中の急登。やがて草原の中の道になるが急登が続く。次々下山して来る人達とすれ違う。

14:53 六合目。少し緩やかになる。下山して来た人3人に「どこまで?」と聞かれ「上蒜山ピストン」と答える。

15:10 八合目。眼下に蒜山高原が広がる。時間的にはそう暗くなる筈ではないが、曇り空のせいか随分暗く感じる。ここからは緩やかな尾根歩き。道の脇には雪が残り、道は雪解けでぬかるむ。ここで宿に電話して塩釜の冷泉登山口への迎えを頼むとOKの返事。これで往復するより時間はかかるが上蒜山～中蒜山～縦走が出来る。

15:25 上蒜山山頂。樹林に囲まれ展望は良くない。ここから中蒜山への下りが厳しい。岩場の急坂の上雪で滑る。鎖を頼りに下る。危険マークに納得。太い鎖が連続する。コースタイム通り1時間たっぷり要す。

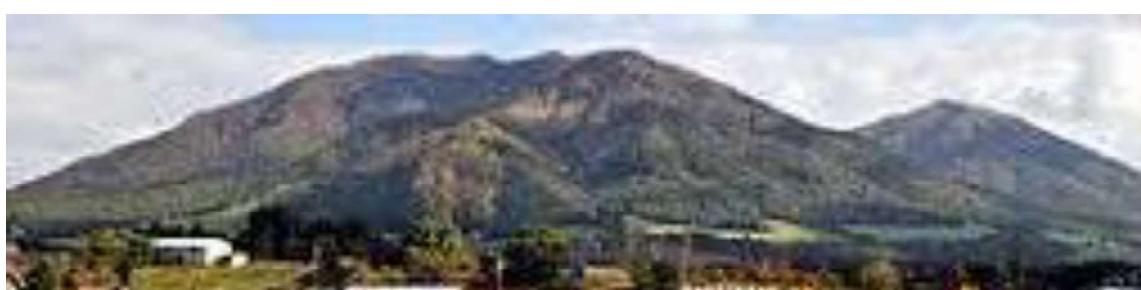
15:56 中蒜山避難小屋。中を見る時間はなかったが立派な小屋が建っている。

15:58 中蒜山山頂。この先は下山禁止になっている。小屋まで戻り下蒜山への道を行く。暗くならない内にと急ぎ下山。とうとう小雨が降り出す。濡れる程ではないのでそのまま下山。分岐から日留神社迄は鎖がある急な下り。雨はだんだん激しくなるが、樹林帯の中なので枝葉で雨を凌ぎ乍ら下る。枯葉が積もり石や段差が隠れて歩きにくい。

16:45 塩釜ロッジ登山口着。やっと無事下山。すぐに宿に電話。雨が激しくなり合羽を着て迎えを待つ間に野菜等を売る店が店舗舞いを始めた。

17:05 旅館・川上着。とても素敵な造り。元YHなのでもっと安っぽい宿を想像していたが、親戚の工務店に頼んで2年かけて造ったと言う。年配のご夫婦の経営で、料理はシンプル。山登りをする者には品数もボリュームも少なく不満足。ネットで調べて大田市から来たと言う女性客2人も「もう料理はおしまい?」とぼやいていた。風呂も小さくシャンプーも空。建物は立派だったが中身は今1つだった。

今回は上蒜山のみのピストンの心算だったが、つい欲が出て中蒜山迄縦走してしまった。機会があれば下蒜山迄縦走したいが、交通の便が悪くコミュニティバスはあるがバス停から登山口迄かなり歩く事になる。車山行なら2台必要となる。或いは送迎してくれる宿を探せば良いのだが…



2月号案内

表紙の写真

屋根谷 克己 さん (らぐなん山の会)

城陽市周辺のカキツバタ

カキツバタ：

城陽のトヨタで車の点検を待っている

間休耕田に咲いているのをスケッチ

しました。

*今年は京都連盟創立 60 周年の年です。

2024 年に創立 60 周年記念事業実行委員会が結成され、活動が開始されました。創立当初は全国どこでも山に登るのはほとんどが若者で高齢者は少なかつたようです。

今は、若者はもちろんですが、高齢の登山者も多く仕事や子育てが落ち着いてきて定年を期に健康のためと登山を始める人も多くなり、登山人口の構成も変化してきています。

そんな時代にあった山岳会のあり方、組織のあり方等を研究して次世代に登山技術や運営を引き継いでいく課題があります。

60 周年をひとつのステップアップとして京都労山発展の機会にしたいものです。



<お知らせ>

表紙のイラストや写真を提供ください

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。

例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

*字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下23mm

2026年 京都府連盟 月間予定表

2月 (如月・FEB)		
日	月	
1	月	自然保護委員会
2	火	事務局長会議
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	冬山勉強会 冬山テント泊・経ヶ岳
8	日	冬山勉強会 冬山テント泊・経ヶ岳
9	月	常任理事会
10	火	
11	水	建国記念の日
12	木	冬山勉強会 コンパニオンレスキュー
13	金	
14	土	
15	日	女性委員会雪見山行・大文字山
16	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
17	火	教育委員会
18	水	60周年実行委員会
19	木	
20	金	やまびこ利用日
21	土	大文字山登山道整備 雪山ピーカハント 木曽駒ヶ岳
22	日	雪山ピーカハント 木曽駒ヶ岳
23	月	天皇誕生日 雪山ピーカハント 木曽駒ヶ岳
24	火	常任理事会 気象勉強会
25	水	女性委員会
26	木	
27	金	
28	土	

3月 (弥生 MAR)		
日	月	
1	月	京都労山 定期総会
2	火	自然保護委員会
3	水	事務局長会議
4	木	
5	金	
6	土	大文字山登山道整備
8	日	
9	月	常任理事会
10	火	
11	水	
12	木	冬山勉強会 春山の気象
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
17	火	教育委員会
18	水	60周年実行委員会
19	木	
20	金	雪山ピーカハント・爺ヶ岳 春分の日
21	土	雪山ピーカハント・爺ヶ岳
22	日	雪山ピーカハント・爺ヶ岳
23	月	常任理事会
24	火	気象勉強会
25	水	女性委員会
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	